

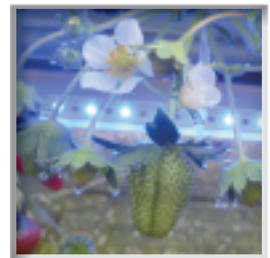
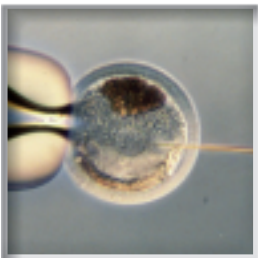


徳島大学 生物資源産業学部

FACULTY OF BIOSCIENCE & BIOINDUSTRY, TOKUSHIMA UNIVERSITY

GUIDEBOOK

2018-2019



生物資源産業学部 生物資源産業学科

平成28年4月 新設

CONTENTS

学部の概要	1
学部長あいさつ	2
アドミッション・ポリシー	3
カリキュラムの特長	4
各コースの特長	
応用生命コース	5
食料科学コース	7
生物生産システムコース	9
教員紹介	11
キャンパス・附属施設紹介	13
入試情報	15
卒業生の進路	17
取得できる資格・受験資格	18
アクセス	19

生 物資源産業学は、生物の優れた機能とそれを支える構造を科学的に解明し、それらの成果を生物資源の生産・応用に活用し、新しい産業を創出するための総合的学問・技術体系です。

本学部は、21世紀における食料、環境、医療、エネルギーなどに関連するさまざまな課題解決の糸口を探るとともに、その技術を新しい産業創出に活かすことができる人材を育成するため、「ものづくりマインド」と「起業マインド」の双方を備えた人材の育成に重点を置いた教育を実践します。

また本学部では、後継者不足や価格低迷等により衰退が懸念される、徳島の農林水産業の成長産業化を目指すため、徳島県、徳島県食品工業協会、徳島県農業法人協会、鳴門教育大学、阿南工業高等専門学校などとの間で連携協定を締結し、研究開発における知見の提供や、人材育成を通じた地域貢献に取り組んでいます。





生物資源の探求

生物資源産業学部は、平成28年4月に徳島大学では30年ぶりに設置された新学部です。

これまでの農学系学部とは異なり、「産業」という言葉が入っています。生物資源を巧みに活用し、新しい産業の創出につながる研究の推進と、その担い手となる人材の育成を進めています。生物資源は、農林畜水産業の一次産品、微生物、培養細胞等の多岐にわたり、食糧、医薬品原料、エネルギー源等として、人々の生活に欠かせないものです。また、生物資源には未だ見出されていない優れた機能や成分が存在していると考えられ、生物資源は大きな可能性を秘めた資源であると言えます。

しかし、一次産業の後継者不足や国際競争力の低下など、生物資源に関する産業は多くの問題も抱えています。そのため、一次産業を持続可能な成長産業とすることが必要です。また、一次産業を支える労働者の環境は充分とは言えず、地域の過疎化の要因の一つになっています。この点においても、地域資源の活用により地域から世界へ貢献する新産業の創出が求められています。

2015年のニューヨーク国連本部における「国連持続可能な開発サミット」で、17の目標からなる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）が採択されましたが、その中には、(1) 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する(2) 持続可能な消費と生産のパターンを確保する(3) 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する(4) 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、等の目標があり、本学部の目指す目標は人類の幸福と安寧に繋がる重要なものと言えます。

本学部では、前述の目標を達成するため、バイオサイエンス、フードサイエンス、アグリサイエンス等の先端技術に加えて、経済学、経営学、知的財産、商品開発等の科目編成により、生物資源から新しい食糧・医薬品等の開発・事業化を目指した人材育成を進めています。そのためには、学内の連携はもとより、国、自治体、企業との連携が必須であり、何卒ご支援の程、お願い致します。国土が狭く資源の少ない日本は、科学技術立国として人材こそが日本の将来を支える原動力です。教職員一丸となって、しっかりとした教育研究を進めてまいります。

徳島大学生物資源産業学部長

横井川 久己男

本 学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドを持った人材の育成を目的としています。

そのため、本学部では、次のような人物を求めています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を持っている人

探 究 力

自分が関心を持ったことを深く掘り下げようとする人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知 識 ・ 教 養

本学部の専門分野を学ぶために、**高等学校等で修得すべき※**理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科

「化学、化学基礎」「生物、生物基礎」「物理、物理基礎」から2科目以上に渡る内容の理解と、自然環境で起こっている現象やその問題解決に必要な知識・教養。特に、入学後の学修に備えるため、化学に関する科目は実験データの解析力などを踏まえて、着実な修得をはかること。

数 学

「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語

国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語

様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民

地歴・公民における基礎的内容の理解



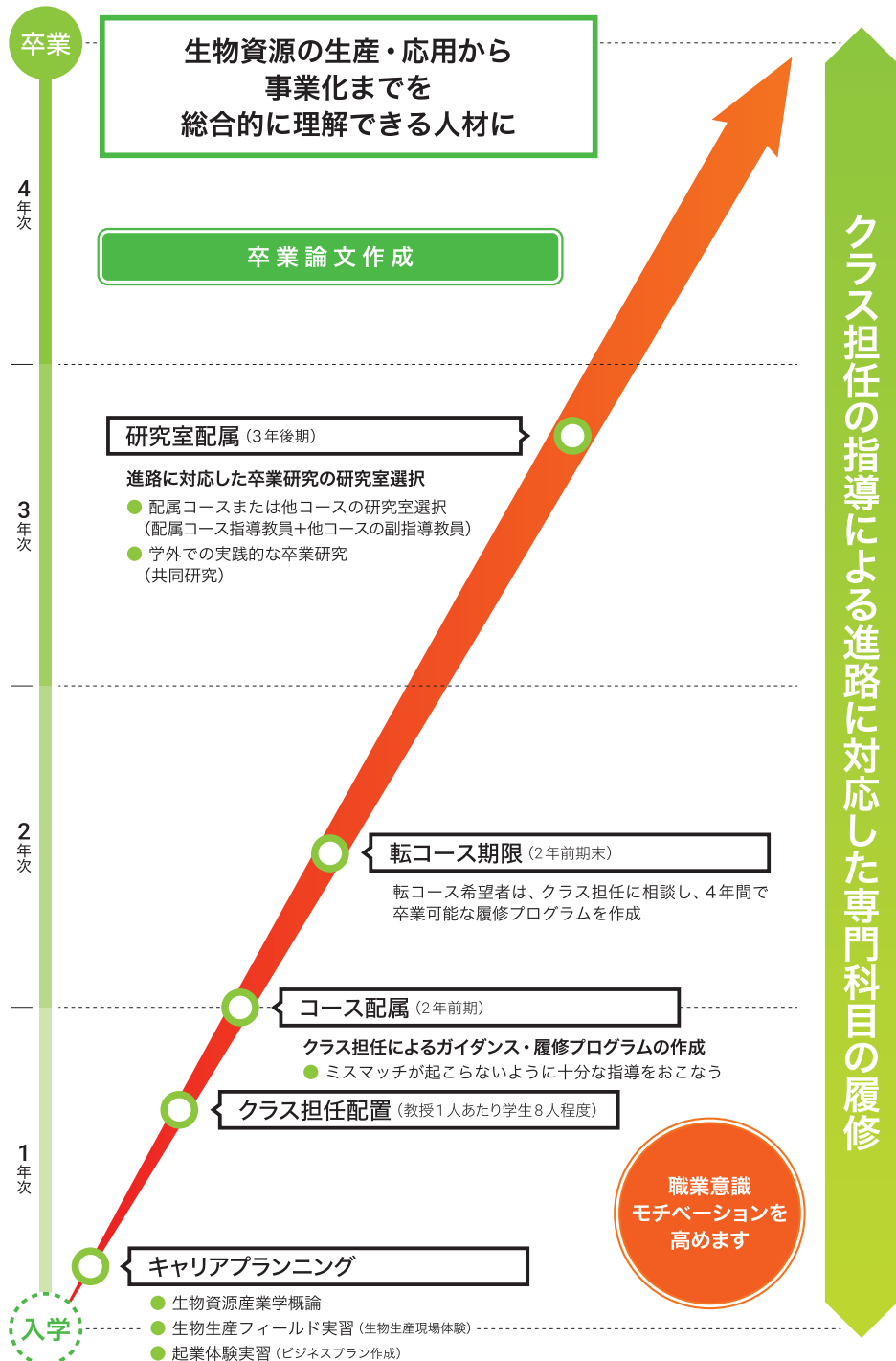
教 養教育科目と生物資源に関する基礎知識を学科共通科目によって学んだ上で、2年次からコースに配属し、微生物から動植物に至る広範囲な生物学や生命化学、最先端のバイオテクノロジーや、これらを応用した食品の保存や加工技術・医薬品の開発・生物資源の生産育種技術などの専門科目を学びます。

さらに、ビジネスに必要な経済関連科目や特許及び生物資源に関する法規といった、一般的な農学系学部では比較的学ぶ機会が少なかった科目を学科共通の専門科目として用意しており、商品開発や経営等に必要となる基礎知識を総合的に身につけることができます。

また、社会に出る前に就労現場を体験し、起業マインドを養うため、インターンシップを必修化している点も大きな特長です。

● コースに関係なく専門性を維持しながら、分野横断的に幅広い知識を修得できます。

● 2年次にコースを選択するので、余裕を持って専門分野を選択でき、就職、進学先も広範囲に選択することができます。



応用生命 コース

BIOENGINEERING COU

応用生命コースでは、生物学、化学、工学を融合し、最新バイオ技術を駆使して健康、資源、環境等の諸問題を解決するための専門知識や技術を修得することができます。創薬、細胞機能の解明と応用、バイオマス有効利用等により、諸問題を解決できる能力や、開発したバイオテクノロジーを産業へ応用し、バイオベンチャー関連の企業でも活躍できる能力を養成します。

Point!

教育の

学科専任教員と製薬、食品製造、醸造に関連する企業からの学外講師による実学もあります。



特長

生命分子や細胞の基礎研究からゲノム工学、細胞工学、微生物工学等の応用研究までの学問分野に関する教育を行い、生物資源からの医薬品開発や候補物質のスクリーニング、培養細胞によるタンパク質医薬品の大量生産等の医薬工連携分野及びバイオエネルギー生産等の研究を重点的に進めています。

進路と未来予想図

生物工学的アプローチによる生物資源（微生物・培養細胞など）のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。



製薬系企業、化学系企業、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、医用工学系企業、バイオベンチャー企業、公務員、商社など

教員からの

Message



長宗 秀明 教授

病原性細菌の「災いを転じて福となす!!」

私たちの研究室では感染症の予防、診断、治療に役立てるため、病原体が持つ毒素や酵素などの生理活性物質の研究をしています。

またそれらを改造し利用することで、災いを転じて福となし、新しい医療技術や医薬品の開発を目指しています。



宇都 義浩 教授

がん治療のための創薬とサプリメントの開発研究最前線

我々は発育鶏卵を用いた癌の治療薬や診断薬の研究を行っており、癌や種々の感染症に対して臨床効果のある免疫サプリメント「初乳MAF」の開発に成功しています。

今後は、初乳MAFの世界展開を目指しており、癌や感染症に関する創薬研究に興味のある学生を待っています。



浅田 元子 講師

日本の豊かなバイオマスを巧みに操ろう!!

バイオマス、とは“生物資源”です。身近なこれらから、どうしたら余すところなくヒトや自然に有用なモノが環境低負荷で創れるか、を化学・物理・生物・機械的の多方面から追求し、技術を駆使して創造してみませんか。

主な開講科目

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|------------|
| ● 生化学 | ● 分子生物学 | ● バイオリクター工学 | ● 応用発酵学 |
| ● 生体高分子学 | ● 応用微生物学 | ● 細胞バイオ工学 | ● バイオマス利用学 |
| ● 微生物学 | ● タンパク質工学 | ● 創薬学 | ● 再生医学 |
| ● 生物物理化学 | ● 細胞情報学 | ● 免疫工学 | ● 医用工学 |

先輩の声



3年生
橘 優心 さん
インターンシップ先
市岡製菓株式会社

テーマ

インターンシップに参加して

課題解決型インターンシップということで、ただインターンシップ先に行っただけで言われたことに受動的に取り組むのではなく、与えられた課題に対して能動的に取り組まなくてはならなかったのが大変でした。3週間という期間は長いと思っていましたが、実際には課題をこなすうちにあっという間に時間が過ぎていきました。今回のインターンシップで、社会人となって会社で働く自分の姿を想像でき、働くということに対して実感を持つことができました。

主な活動内容

- 駅前、学内でのアンケート調査
- アンケートの内容考案
- 駅前、高校でのチラシ配り
- チラシのデザイン作製
- 工場見学
- 接客
- わたあめの作製
- プレゼンテーション資料の作製
- 社内報告会への参加
- クーポンや引換券の内容考案

食料科学 コース

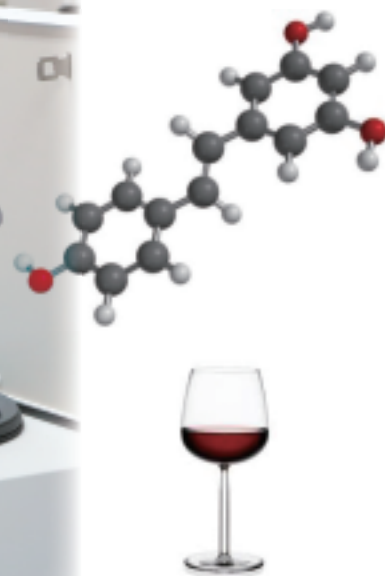
FOOD SCIENCE COURSE

食料科学コースでは、最新バイオ技術を駆使して食料、健康、資源、環境の諸問題を解決するための専門知識、技術を修得することができます。微生物機能の利用、機能食品の開発、フードビジネスに関する教育を進め、農学、工学、医学、栄養学及び薬学的見地から新しい安全な食品開発と産業化に貢献する能力を養成します。

Point!

教育の

生薬や天然由来の機能性素材の研究を行っている医学部医科栄養学科、先端酵素学研究所や薬学部の専任教員と、実学は徳島県立工業技術センターや地元企業の協力を得て進めています。



特長

安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力の育成を目的として、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源開発に関する教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行います。

進路と未来予想図

栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。



フードビジネス自営、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、バイオベンチャー企業、食品流通業、サービス業、製薬系企業、化学系企業、農林水産業団体職員、公務員、商社

教員からの

Message



櫻谷 英治 教授

暮らしに役立つ身近な微生物たち

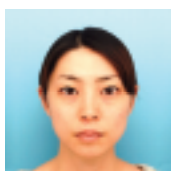
みそ、醤油、酒、パン、納豆、鰹節などの食品は微生物のちからを借りて、作られています。個々の微生物がもつ特異なちからを見だし、多様なものづくり（健康食品、化成品、医薬品）に応用する研究を行っています。



金丸 芳 准教授

美味しくて体に良い「食」を！

毎日どんな食事をしていますか？今や加工食品は欠かせません。食・美味しさとは何か、食品加工の意義と技術、食品衛生、加工食品の役割や現状を話します。安全な食を提供できる能力と理念を修得して下さい。



向井 理恵 准教授

食と健康（食品の機能性）

食品の付加価値として、「機能性」に注目が集まっています。食品の機能性研究では、健康を支える食品成分について「何が」「どこで」「どのように」働いているのかを探り、食品と人体との関係をひも解くことを目指しています。

主な開講科目

- | | | | |
|-------------|-----------|--------|-----------|
| ●天然物化学 | ●遺伝子資源利用学 | ●食品衛生学 | ●食品アレルギー学 |
| ●食品・栄養学概論 | ●食品微生物学 | ●栄養生理学 | ●味覚サイエンス |
| ●バイオアセスメント学 | ●機能食品学 | ●ビタミン学 | ●病態栄養学 |
| ●食品加工保蔵学 | ●酵素化学 | ●食と漢方 | ●発酵醸造学 |

先輩の声



3年生
川村 実那 さん
インターンシップ先
日新酒類株式会社

テーマ

インターンシップに参加して

ラベルデザインとPOPデザインの作成で、“限られたサイズでいかに商品を手にとってもらえるような表現をするか”を考えるのに苦戦しました。実際に様々な組み合わせで試飲し、この部分をアピールしたら良いのでは、と話し合いました。

デザインの考案以上に大変だったのが、50枚にも及ぶ海外の資料の和訳でした。社長さんや社員の皆さんが「なかなか忙しくてできないが、重要な資料」とおっしゃっていたので、少なからず貢献できたことが自信に繋がりました。

主な活動内容

- 海外のお酒の種類の説明、定義、分類についての資料の和訳
- 既存の日新酒類商品のラベル&POPのデザイン考案
- 海外への日新酒類商品の輸出検討
- 工場見学
- 利き酒

生物生産システム コース

AGR

生物生産システムコースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖の教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行い、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探求し、生産性の高い持続的1次産業を構築するための知識・技術力を修得します。また、生産生態系の保全を通して、農山漁村の多面的機能についても学び、1次産業の後継者教育を養成します。

Point!

教育の

徳島県下自治体、徳島県立農林水産総合技術支援センターと連携しながら、附属施設にてフィールドワークを行います。



特長

植物工場に代表される先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発と種苗生産、フードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズの動向を的確に捉えた販売戦略の企画力について教育します。

進路と未来予想図

農工連携による生物資源の生産管理システム、育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献できる人材を養成します。



アグリビジネス自営、植物工場システムエンジニア、農業自営、農林水産技術者、畜産技術者、地域おこしを目的としたNPOの職員、農林水産業団体職員、公務員、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、食品流通業、商社

SCIENCE COURSE



音井 威重 教授

動物に癒されて研究—いきものがかり—

石井キャンパス（農場）で先端技術を用いた糖尿病ブタなど医療用ブタの作製と野生動物の精子等について研究しています。“いきもの係”の活動もありますが、スタッフは獣医師が多く、動物好きな方と一緒に研究できれば楽しいと思います。



濱野 龍夫 教授

水の生きもので地域を元気に

徳島は水の王国。潜って遊べる生きものあふれる川。瀬戸内海から太平洋につながって多様な魚種を育む海。研究室では、地域を元気にする水の生きものの増殖や保全技術の開発、そして、その生きものを応用するイベントや六次産業化をサポートしています。



刑部 祐里子 准教授

植物がどのように環境を感じるか

植物は地球上のさまざまな環境に適応して生存しています。世界的な環境悪化に耐えられる新しい農作物作出を目指して、多様な環境下で植物がどのように生き延びようとしているかを分子レベルで明らかにします。

主な開講科目

- 植物生理学
- フィールド環境生態学
- 植物学総論
- グローバル生産環境論
- 森林科学
- 動物生産科学
- 水圏生産科学
- 栽培育種工学
- 植物病理学
- 森林代謝学
- 応用昆虫学
- 植物環境応答生理学
- 水産資源学
- 家畜繁殖学
- 植物細胞工学
- 生産環境制御システム論



3年生
藤井 馨 さん
インターンシップ先
海陽町役場産業観光課



インターンシップに参加して

地方創生に興味があり、このインターンシップに参加しました。農業や漁業体験をしたり、都市部からの移住者や地域おこし協力隊の方々から話を伺ったりしました。

後継者不足や知名度アップなど、メディアで挙げられている地方の課題を実際に田舎へ行き様々なことを体験できたからこそ、より深く理解することができました。課題に向かってメンバーで話し合い、自分たちの目線で案を出すなど、課題解決型だからこそできた経験だと思います。

- 主な活動内容
- 漁業体験 ● 農業体験 ● 森林組合の訪問 ● 地域おこし協力隊の方との交流
 - 都市部からの移住者の方との交流 ● まぜのおかにて体験型食育交流イベントのスタッフ

応用生命 コース

教授



宇都 義浩

〔専門〕創薬科学
〔研究テーマ〕発育鶏卵を用いた制癌剤および免疫賦活剤の創薬研究
〔研究室〕機械棟8階



長宗 秀明

〔専門〕微生物学
〔研究テーマ〕細菌由来の生理活性物質：基礎研究から医療／細胞工学への応用研究
〔研究室〕化学・生物棟7階



中村 嘉利

〔専門〕バイオマス変換工学
〔研究テーマ〕バイオマスの総合的有効利用法の構築
〔研究室〕機械棟7階



松木 均

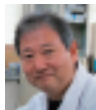
〔専門〕生物物理化学
〔研究テーマ〕両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究
〔研究室〕化学・生物棟6階

准教授



玉井 伸岳

〔専門〕生物物理化学
〔研究テーマ〕脂質膜の構造特性に関する物理化学的研究
〔研究室〕化学・生物棟6階



友安 俊文

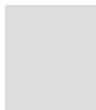
〔専門〕微生物学
〔研究テーマ〕微生物の病原性発現機構の解析
〔研究室〕化学・生物棟7階



湯浅 恵造

〔専門〕分子細胞生物学
〔研究テーマ〕細胞内シグナル伝達機構の解明とその応用
〔研究室〕化学・生物棟7階

講師



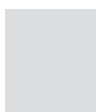
浅田 元子

〔専門〕生物機能・バイオプロセス
〔研究テーマ〕未利用植物性バイオマスの有用資源化
〔研究室〕機械棟7階



岸本 幸治

〔専門〕幹細胞生物学
〔研究テーマ〕ストレスセンサー膜受容体によるがん幹細胞性制御機構の解明／未分化細胞が有するストレス応答遺伝子の機能とその特異的発現誘導機構の解明
〔研究室〕化学・生物棟7階／ベンチャービジネス育成研究室4階



佐々木 千鶴

〔専門〕バイオマス変換工学
〔研究テーマ〕木質系・草本系バイオマスの総合的有効利用法
〔研究室〕機械棟7階



白井 昭博

〔専門〕微生物学
〔研究テーマ〕光反応を利用した病原性微生物制御法の構築
〔研究室〕機械棟8階



田端 厚之

〔専門〕微生物学
〔研究テーマ〕細菌病原因子の作用機構と宿主応答システムの解明に関する研究
〔研究室〕化学・生物棟7階



山田 久嗣

〔専門〕生物有機化学
〔研究テーマ〕In vivo ケミカルプローブの創製
〔研究室〕機械棟8階

助教



鬼塚 正義

〔専門〕蛋白質科学
〔研究テーマ〕抗体医薬品生産プラットフォーム開発
〔研究室〕化学・生物棟8階



後藤 優樹

〔専門〕生物物理化学
〔研究テーマ〕脂質・界面活性剤二重膜の高圧物性
〔研究室〕化学・生物棟6階

食料科学 コース

教授



小山 保夫

〔専門〕細胞生物学・トキシコロジー・ファーマコロジー
〔研究テーマ〕化学物質（食品由来成分から農薬などの環境汚染物質まで）の細胞への作用・影響評価
〔研究室〕総合科学部3号館3階



櫻谷 英治

〔専門〕応用微生物学
〔研究テーマ〕機能性のある油をつくる微生物を利用した発酵研究
〔研究室〕化学・生物棟8階



辻 明彦

〔専門〕酵素化学
〔研究テーマ〕酵素の工学、医学応用に関する研究
〔研究室〕化学・生物棟7階



横井川 久己男

〔専門〕食品微生物学
〔研究テーマ〕有用微生物の機能改善と有害微生物の機能抑制
〔研究室〕総合科学部1号館1階

准教授



赤松 徹也

〔専門〕生理学・口腔生理学
〔研究テーマ〕唾液腺の発生・分化・再生の分子メカニズム
〔研究室〕化学・生物棟8階



金丸 芳

〔専門〕食品加工保蔵学・食品衛生学
〔研究テーマ〕生物資源の機能性と有用性および加工特性の研究
〔研究室〕総合科学部3号館3階



川上 竜巳

〔専門〕応用生物化学
〔研究テーマ〕極限環境微生物が作り出すユニークな酵素の機能構造・応用
〔研究室〕総合科学部3号館3階

**田中 直伸**

〔専 門〕天然物化学・生薬学
 〔研究テーマ〕天然物の有効利用を目指した医薬品素材や機能性素材の探索ならびに開発研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**向井 理恵**

〔専 門〕食品科学・食品機能学
 〔研究テーマ〕食品に含まれるフラボノイドの生理機能の研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**山本 圭**

〔専 門〕病態医学
 〔研究テーマ〕健康と病態に関わる脂質ネットワークの研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

助 教**阪本 鷹行**

〔専 門〕分子生物学
 〔研究テーマ〕バイオマス資源を利用した機能性物質の微生物発酵生産
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

生物生産システム コース**教 授****刑部 敬史**

〔専 門〕遺伝子工学
 〔研究テーマ〕新規ゲノム改変技術の開発と植物担子菌育種への応用に関する研究
 〔研 究 室〕藤井節郎記念医科学センター3階

**音井 威重**

〔専 門〕動物生殖工学
 〔研究テーマ〕野生動物と家畜における生殖工学技術の展開
 〔研 究 室〕農場：農場事務・研究棟2階

**玉 真之介**

〔専 門〕農業経済学
 〔研究テーマ〕農村を中心に地域の持続可能性について経済学や歴史学的手法で研究している
 〔研 究 室〕総合科学部1号館3階

**濱野 龍夫**

〔専 門〕水圏生産科学
 〔研究テーマ〕水圏生物を増やし保全し活用するための研究
 〔研 究 室〕総合科学部3号館3階／水圏教育研究センター

准教授**刑部 祐里子**

〔専 門〕植物分子生理学
 〔研究テーマ〕植物の環境応答の分子機構とゲノム編集
 〔研 究 室〕総合研究実験棟2階

**佐藤 征弥**

〔専 門〕植物生理学
 〔研究テーマ〕植物の病害の診断・治療。公園の造園設計。イチゴの伝来・伝播ルートの解明。
 〔研 究 室〕総合科学部3号館3階

**服部 武文**

〔専 門〕森林微生物代謝化学
 〔研究テーマ〕森林微生物の代謝機構の解明と森林資源の六次産業化への応用
 〔研 究 室〕総合科学部1号館1階

**三戸 太郎**

〔専 門〕発生生物学
 〔研究テーマ〕昆虫のゲノム機能解明と食料資源化
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**宮脇 克行**

〔専 門〕遺伝子工学
 〔研究テーマ〕動物・植物の効率的な生産方法の開発
 〔研 究 室〕農場：農場実習・研究開発棟2階

**山城 考**

〔専 門〕植物系統分類学
 〔研究テーマ〕植物の分類と系統に関する研究および希少植物の保全に関する研究
 〔研 究 室〕総合科学部1号館1階

講 師**岡 直宏**

〔専 門〕海洋植物学
 〔研究テーマ〕有用海藻の増養殖、機能性成分の探索
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階／水圏教育研究センター

**橋本 直史**

〔専 門〕農業経済学
 〔研究テーマ〕農産物の商品化と流通に関する研究
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階

**山下 聡**

〔専 門〕森林科学
 〔研究テーマ〕森林における菌類と昆虫に関する生態学的研究
 〔研 究 室〕総合科学部1号館1階

助 教**石丸 善康**

〔専 門〕発生生物学
 〔研究テーマ〕発生・再生の分子メカニズムの解明
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**谷原 史倫**

〔専 門〕動物発生工学
 〔研究テーマ〕家畜における発生工学研究、ゲノム編集による遺伝子改変ブタの作出
 〔研 究 室〕農場：農場事務・研究棟2階

**山田 晃嗣**

〔専 門〕植物生理・病理学
 〔研究テーマ〕植物・病原体間相互作用に関する研究
 〔研 究 室〕藤井節郎記念医科学センター3階

**渡邊 崇人**

〔専 門〕遺伝子工学
 〔研究テーマ〕有用動物の遺伝子工学的な育種と大量生産システムの開発
 〔研 究 室〕農場：農場実習・研究開発棟2階

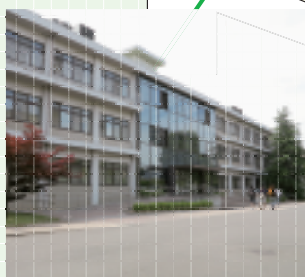
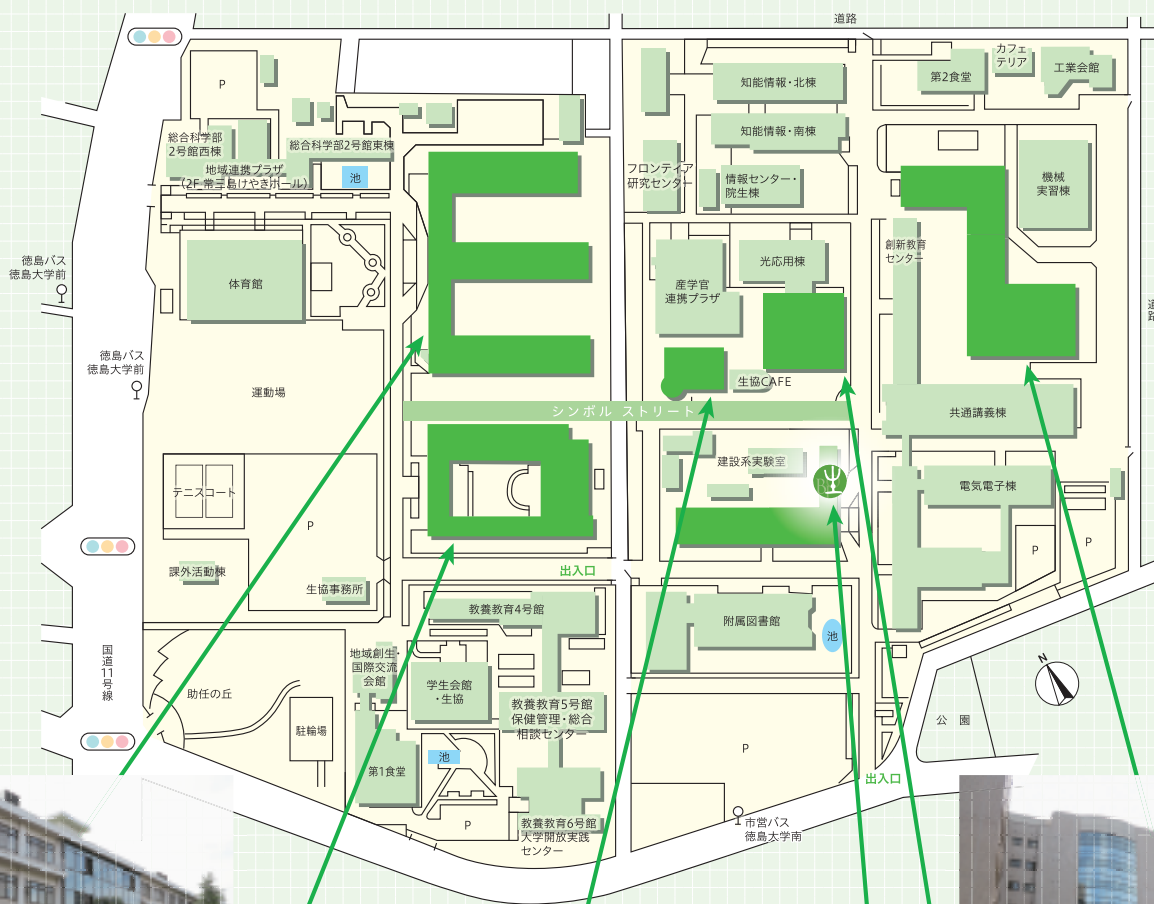
常三島キャンパス

徳島市南常三島町2-1

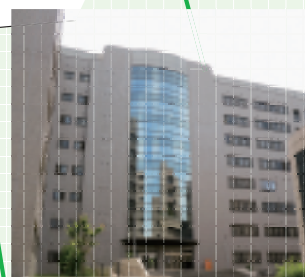
生物資源産業学部のメインキャンパスです。総合科学部や理工学部の他、教養教育院や附属図書館等の多くの附属施設があり、入学後は、多くの時間をこのキャンパスで過ごします。

マップ上にグリーンで示した建物が、生物資源産業学部の教員研究室や実験室等がある建物です。

生物資源産業学部事務課の事務室は、建設棟2階にあります。授業の取り方や各種手続きで困ったことがあれば、お気軽にお越しください。



総合科学部1号館



機械・化学・生物棟



総合科学部3号館



ベンチャービジネス育成研究室



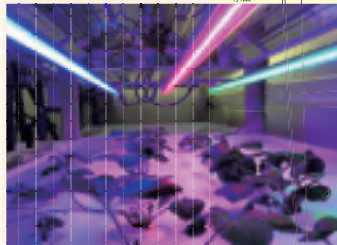
事務課(建設棟2階)



総合研究実験棟

生物資源産業学部農場

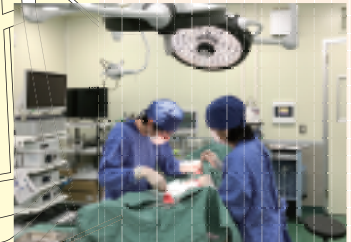
名西郡石井町石井字石井2272-2



農場実習・研究開発棟



農場事務・研究棟



創薬・医療機器開発施設



生物資源産業学部農場は、約10万m²という広大な敷地を有しており、そこには圃場や果樹園の他に、気温等が管理された屋内の閉鎖空間で作物栽培を行う植物工場や、ブタの品種改良等を行う研究室があり、先進的な研究に取り組んでいます。

学生の皆さんは、生物生産フィールド実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

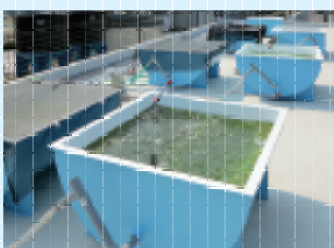
また、ブタは解剖学的にヒトに近い部分が多く、外科手術のトレーニング等においても広く利用されており、本学部の農場には、このような手術トレーニング等を行う施設も有しています。

生物資源産業学部 水圏教育研究センター

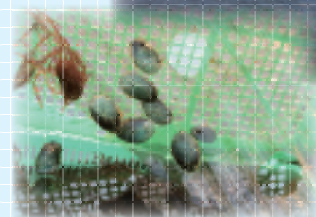
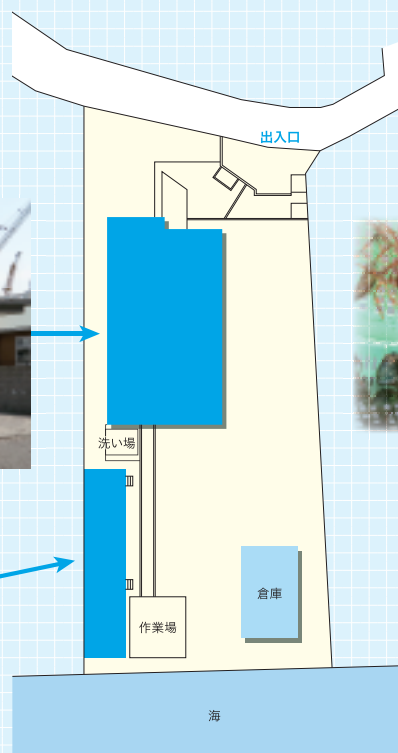
鳴門市瀬戸町堂浦地廻り巻96-14



水圏教育研究センター



屋外培養水槽



生物資源産業学部水圏教育研究センターでは、主に海藻の養殖や、海藻を用いたアワビ等の養殖技術についての研究を行っており、屋内で様々な環境を再現し、最適な育成環境を探る基礎研究から、屋外水槽における大量養殖技術の検証等の応用研究までを一貫して実施しています。

学生の皆さんは、生物生産フィールド実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

入 学者選抜については、学科全体で選抜を実施し、
2年前期からコース配属されます。

推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない）〈地方創生型〉		定員：8名
区 分	一般枠（農業・工業・商業・総合学科）	地域枠（農業・工業・商業・総合学科）
各枠定員	4名	4名
推薦の要件〈抜粋〉 ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈全体〉4.0以上・各校2名まで）	
個別学力検査等 （入学志願者数の状況によっては、 書類審査の内容により1次選考を 行うことがあります。）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 書類審査（300点）：「調査書」「活動報告書」「学びの設計書」 ■ 集団討論（300点） ■ 個人面接（400点）※口頭試問あり 	
総得点	1000点満点	
備考	<p>※一般枠は、全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象。</p> <p>※地域枠は、地方創生に向けた取り組みの一環として、徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者で、大学又は大学院卒業後に徳島県の産業を担うことに強い意欲をもつ者を対象。</p> <p>※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。</p>	

推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）〈主体性・表現力重視型〉		定員：22名
推薦の要件〈抜粋〉 ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈理科〉4.0以上・各校人数制限無）	
センター試験（300点）	数 学（100点）：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」	
	理 科（100点）：「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語（100点）：「英語」	
個別学力検査等 1次選考（書類審査：300点／セン ター試験：300点）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査書 ■ 学びの設計書 ■ 活動報告書 ■ センター試験の成績 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 100px;"> } 300点 </div> <p style="margin-left: 100px;">300点（配点等は、上記のとおり）</p>	
個別学力検査等 2次選考（400点）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集団討論 200点 ■ 集団面接 200点 	
総得点	1000点満点（1次選考及び2次選考の総合評価）	
備考	<p>※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。</p> <p>※センター試験の成績が、全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）の90％程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p>	

一般入試（前期日程）〈確かな学力重視型〉				定員：50名
項目	科目	点数	科目	備考
センター試験 (550点)	国語	50点	「国語」	
	地歴	50点	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	※1科目を選択
	公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	数学	150点	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	
	理科	150点	「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語	150点	「英語」	
個別学力検査等 (450点)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合問題 300点 ■ 集団面接 150点 			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

一般入試（後期日程）〈知識・思考力重視型〉				定員：20名
項目	科目	点数	科目	備考
センター試験 (700点)	国語	50点	「国語」	
	地歴	50点	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	※1科目を選択
	公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	数学	200点	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	
	理科	200点	「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語	200点	「英語」	
個別学力検査等 (300点)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合問題 300点 			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

平成 27～29 年度卒業生の進路状況

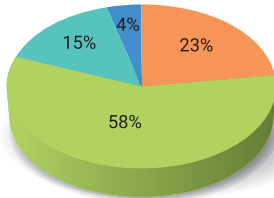
生 物資源産業学部の前身である総合科学部社会創
生学科環境共生コース（一部）及び工学部生物
工学科の統計を掲載しています。

※「公務員」に「国立大学
法人」を含み、「その他」
に非公開者を含む

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

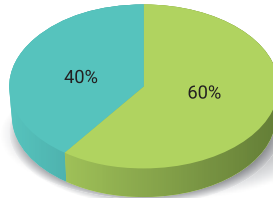
○学部生

卒業生 53 名



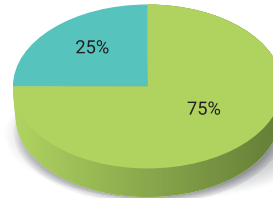
○大学院生（博士前期課程）

修了生 5 名



○大学院生（博士後期課程）

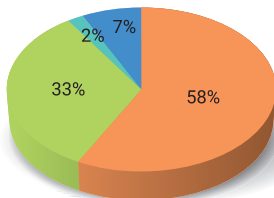
修了生 4 名



工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

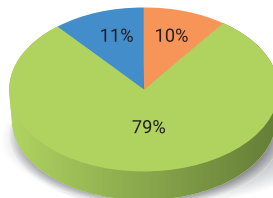
○学部生

卒業生 189 名



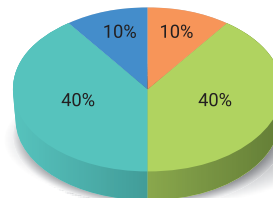
○大学院生（博士前期課程）

修了生 91 名



○大学院生（博士後期課程）

修了生 10 名



平成 27～29 年度卒業生の就職先一覧

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

○学部生

イオンリテール(株)、大塚倉庫(株)、クリニプロ(株)、(株)JCBエクセ、高松建設(株)、知多信用金庫、徳島県国民健康保険
団体連合会、徳島県信用保証協会、(株)ベンチャーバンク、(株)阿波銀行、岡山県公立学校教員(中学・理科)、(株)さなる(塾)、
シティハウジング(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)トーカイ、徳島信用金庫、徳島県信用農業協同組合連合会(JAバン
ク徳島信連)、特別区(23区)、(株)ナックスナカムラ、坂東産機(株)、日新製鋼(株)、久光製薬(株)、(株)フレイン、美馬市
役所、和歌山市役所、(株)朝日通商、(株)伊予銀行、(株)NSD、愛媛県(学校事務)、(株)京進、国立高専機構 明石高等専
門学校(事務)、さくらホーム(株)、住友林業(株)、バンドー化学(株)、(社)眉山園、(株)富士クリーン、プレーメン愛犬クリエ
イティブ専門学校、(医)平成会 山内病院、和歌山県警察(警察事務)

○大学院生

(株)南日本銀行、大阪市立大学、徳島大学生物資源産業学部(技術補佐員)、徳島県庁、美波町役場、四国大学短期大学部、(株)環境防災、ソハグ大学、(有)味源

工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

○学部生

アベックスグループ、大阪浜美屋ホールディングス、(株)大塚製薬工場、日亜化学工業(株)、(有)竹内園芸、田辺三菱製薬(株)、(株)中国銀行、東急リパブル(株)、徳島県信用農業協同組合連合会、徳島県薬剤師会検査センター、長生堂製薬(株)、中野BC(株)、ニプロ(株)、日本イーライリリー(株)、(株)マストミ、水島信用金庫、(株)レクザム、ユニ・チャーム(株)、UCC上島珈琲(株)、尼崎信用金庫、(株)MJE、大正富山医薬品(株)、大塚倉庫(株)、大塚製薬(株)、香川県庁、(株)神戸屋、(株)さかえ、四国化工機(株)、JA西日本くみあい飼料(株)、大鵬薬品工業(株)、第一生命保険(株)、大東建託(株)、帝国製薬(株)、東洋ビルメンテナンス(株)、(株)徳島銀行、徳島県庁、徳島県国民健康保険団体連合会、徳島大学、徳島大学生協、日亜化学工業(株)、ピオフェルミン製薬(株)、(株)マルハ物産、マルホ(株)、ヤング開発(株)、(株)ユタックス、ユニ・チャームプロダクツ(株)、アドバンテック(株)、(株)オージック、(株)コンベンションリンケージ、サンスター(株)、(株)四国中検、JCRファーマ(株)、全星薬品工業(株)、大和証券(株)、東洋製薬化成(株)、(一社)徳島県医師会、野村証券(株)、(株)ハレルヤ、(一財)阪大微生物病研究会、名糖産業(株)、(株)ゆうちょ銀行

○大学院生

アルフレッサファーマ(株)、阿波製紙(株)、イーピーエス(株)、(株)EPSアソシエイト、(株)エイアンドティー、オハヨー乳業(株)、(株)香川銀行、カバヤ食品(株)、クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン(株)、(株)神戸屋、(株)コスモビューティ、沢井製薬(株)、神東塗料(株)、(株)大和農園、田辺三菱製薬(株)、地域おこし協力隊、徳島県庁、徳島大学、WDBエウレカ(株)、日亜化学工業(株)、野田ハニー食品工業(株)、パレクセル・インターナショナル(株)、(一財)阪大微生物病研究会、(株)ファンケル、Meiji Seika ファルマ(株)、森永乳業(株)、アステラス製薬(株)、(株)今里食品、大塚製薬(株)、協和発酵キリン(株)、クノール食品(株)、(株)湖池屋、神戸大学、中外製薬工業(株)、長生堂製薬(株)、東洋ビューティ(株)、東和薬品(株)、(一社)徳島県薬剤師会、富田製薬(株)、ニッシン・グルメリーフ(株)、白鶴酒造(株)、HUYA バイオサイエンスインターナショナル(株)、(株)マキタ、勇心酒造(株)、和光純薬工業(株)、アース製薬(株)、岡谷鋼機(株)、協和化学工業(株)、コスモ・バイオ(株)、サミー(株)、塩野義製薬(株)、シオノギテクノアドバンスリサーチ(株)、四国旅客鉄道(株)(JR四国)、住友ゴム工業(株)、タカナシ乳業(株)、武田薬品工業(株)、日本臓器製薬(株)、ノバルティスファーマ(株)、ハカルプラス(株)、浜理薬品工業(株)、福助工業(株)、富士紡ホールディングス(株)、藤本製薬グループ、(株)マイクロン、(株)ヤクルト本社、野洲メディカルイメージテクノロジー(株)

取得できる資格・受験資格

LICENSES

資格の名称	国家資格	民間資格	備考
食品衛生管理者・食品衛生監視員	○		資格取得が可能
食の6次産業化プロデューサー(レベル3)	○		資格取得が可能
上級バイオ技術者		○	受験資格の取得が可能

アクセス

ACCESS



徳島大学生物資源産業学部

〒770-8513
徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
<http://www.bb.tokushima-u.ac.jp/>

生物資源産業学部事務課

常三島キャンパス建設棟2階
Tel 088-656-8019 [総務係]
Tel 088-656-8021 [学務係]
Fax 088-656-8029



生物資源産業学部農場

〒779-3233
徳島県名西郡石井町石井字石井2272-2
Tel 088-635-0796



生物資源産業学部水圏教育研究センター

〒771-0361
徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り壱96-14
Tel 088-683-7027

